

病院ボランティアの会

ていつつ人だより

No.24
発行責任者
総務課 土江 剛
H28年1月発行

明けましておめでとうございます。
新しい年を迎え、心機一転で頑張っていきます、本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、今回のごっつ人だよりは、10月、11月、12月の作業とボーリング大会、ボランティア研修会、地域医療を守り育てるシンポジウム、公立邑智病院を支援する会の視察、12月合同親睦会について紹介いたします。

10月 車椅子点検（夢発見ウィーク）

10月8日（木）の作業は、夢発見ウィークで職場体験に来ている中学生達と車椅子の点検と補修を行いました。若い世代との合同作業に皆さん張り切っておられました。若い世代も、車椅子点検後にはDMATチームによる院内出前講座を全員で受けて今回の作業を終了しました。



11月 階段滑り止め点検補修

11月20日（金）の作業は本館階段の滑り止めを点検補修して頂きました。いつもより少ない人数での作業でしたが、皆さん一生懸命汗だくになりながら作業をしておられました。
作業後には病院建設室の小川室長より新棟建設について話があり、皆さん色々な質問をしておられました。



12月 クリスマスコンサート

12月21日（月）の作業は翌日に行われる院内クリスマスコンサート準備をして頂きました。
午前中から作業を始め照明設備、舞台設営、飾付け等、本番に向けて素敵な会場が出来上がりました。
当日は多数の患者さんが来場されて、皆さん一緒になって合唱するなど大変盛り上がり、他にもコンサートが終わりお帰りになる方から「毎年楽しみにしている、次回の七夕コンサートも聞きたい」と言っていたいただき嬉しく思いました。



第3回ボーリング大会

10月17日（土）に第3回の親睦ボーリング大会を開催し、ごっつ人より9名、病院からは13名の参加があり総勢22名でスコアを競い合いました。

松井事業管理者、大谷院長を始め先生方も沢山参加し、ごっつ人の皆さんからは先生方の違った一面が見れてとても楽しかったと言っていたいただきました。

第3回大会優勝者はスコア244で石川勝さん、2位はスコア234で小山繁樹さん、3位はスコア221で深田幸悦さん、ブービー賞は周藤マサコさんでした。

その後の懇親会では、皆さんゲームを振り返り大いに盛り上がり楽しいひと時となりました。



ボランティア研修会

10月21日(水) 19:00から大東地域交流センターでボランティア研修会が開催され、当院からは看護部長他5名が参加しました。

講師には県立中央病院 看護部次長 伊藤日登美さん、病院ボランティア ハーモニー会長 米原ゆきみさんの2名にお越し頂き「病院ボランティアの在り方」と題して講演頂きました。病院ボランティアの活動内容などの話を聞き、当院のボランティアさんとは様々な所で違った点もあり、今後の活動に大変参考になる講演でした。



地域医療を守り育てる住民活動

全国シンポジウム2015

11月28、29日に東京で「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム2015」が開催され、てごっ人の方々、病院職員の合わせて10名が参加してきました。

パネルディスカッションでは、住民代表として「がんばれ雲南病院市民の会」の矢壁さんがボランティア立上げから現在に至るまでと活動内容について発表されました。

参加した病院職員からは「改めて住民の方々に支えられているんだと感じた、感謝の気持ちでいっぱいです」という感想が寄せられました。



公立邑智病院を支援する会視察

12月2日、公立邑智病院を支援する会より、会長の南原博文さんをはじめ8名の方が当院の病院ボランティアの活動状況について視察に来られました。

当院での活動内容について病院ボランティア「てごっ人」の石川会長が説明され、その後の質疑応答では、病院との連携、個人情報についての注意点など様々な質問をされました。支援する会の皆さんはとても熱心に聞いておられ、今後の活動に非常に参考になると言っていました。

12月合同親睦会

12月4日(金) 18:30より恒例となりました、がんばれ雲南病院市民の会・病院ボランティアの会との合同親睦会を開催しました。

今年にはボランティア12名、市役所健康福祉部2名、大東総合センター保健福祉課1名、病院13名の参加があり、先日東京で開催された「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム2015」や現在進行中の病院建設について等、様々な話をしてお互いの親睦を図ることが出来ました。



今年も大東高校家庭科クラブの皆さんから、患者さんへのプレゼントとして、手作りの素敵な箸入れ・箸置きを頂きました。たくさんの方にお持ち帰りいただき、とても好評でした！



展示コーナー作品紹介

